



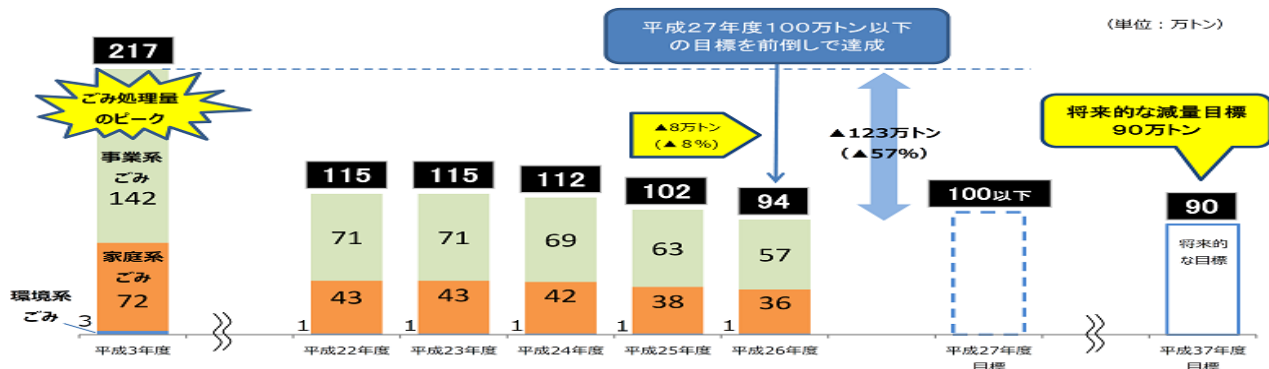
平成26年度ごみ処理量94万トン 前年度比8万トン減量、目標を達成

平成26年度のごみ処理量は、94万トンとなり前年度の102万トンから8万トン減となり、平成27年度の「ごみ処理量100万トン以下」のごみ減量目標を前倒して達成しました。

大阪市では、ごみの減量・リサイクルを推進するために、家庭ごみ減量施策として、平成6年度から資源ごみ、平成17年度からは容器包装プラスチックの分別収集を市内全域で実施するとともに、平成18年度には粗大ごみ収集の有料化、平成19年度には中身の見えるごみ袋による排出指定制度の導入をしました。さらに、より一層のごみ減量を図るため、普通ごみに多く含まれている古紙・衣類の分別収集を平成25年10月から市内全域で実施し、市民の皆様にご協力いただき、これまで普通ごみとして排出されていた古紙類が分別され、大きな減量につながりました。

また、ごみ処理量の約6割を占める会社、商店、飲食店等から排出される事業系ごみ減量施策として、平成21年度から焼却工場への搬入物のチェックを強化し、平成25年10月からは資源化可能な紙類の焼却工場への搬入を禁止しています。本市では、平成37年度を目途とした将来的な減量目標として、ごみ処理量90万トンをめざすこととしており、今後もさらなるごみ減量に向け、取組を進めます。

ごみ減量の達成に向けまして、より一層、市民・事業者の皆様のご協力をお願いします。



東成区・生野区廃棄物減量等推進員の合同実地研修を開催しました

平成27年3月20日(金)、兵庫県加東市のリサイクル施設「パナソニックエコテクノロジーセンター」において施設見学会を実施し東成区8名、生野区11名の推進員が参加しました。

「パナソニックエコテクノロジー」では、家電リサイクル法に基づき、使用済み家電を処理するだけでなく「作る→使う→戻す→生かす」の循環型モノづくりを推進することを目的にした事業展開を行っていることや、リサイクルの技術・環境への取組についての説明を受け参加された推進員は、ごみの分別とリサイクルの必要性や資源循環保全の大切さについて理解を深めました。

工場到着前の昼食・懇親会においては、各推進員が情報交換や意見交換を積極的に行い、今後の地域の推進員活動に反映させるための糧となりました。



(施設概要を熱心に聞き入る推進員)

平成27年度東成区廃棄物減量等推進員の活動予定

10月10日(土) ごみ減量フェスティバル大阪城
(ガレージセール・イン・OSAKA TOWN)

10月17日(土)～10月23日(金)

大阪マラソン“クリーンUP”作戦

11月1日(日) 東成区ガレージセール

11月27日(金) 実地研修・施設研修

平成28年1月～2月 ごみ減量とリサイクル関連研修予定

《編集・発行》

大阪市環境局東部環境事業センター

大阪市生野区巽中1-1-4

TEL:06-6751-5311 FAX:06-6753-3041

<http://www.city.osaka.lg.jp/kankyo/index.html>

